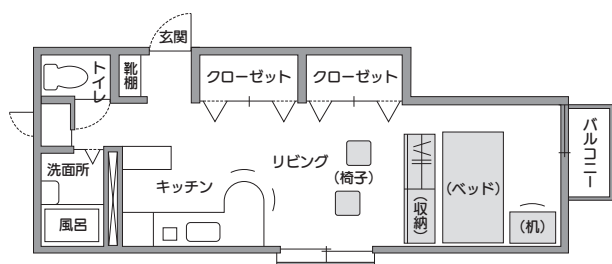


先見性を持った諸先輩が、「自社で女子寮を完備できない中小企業のために女性従業員専用の共同宿舎を作ろう」という目的で昭和41年3月、秋田市中心小企業女子従業員共同宿舎協同組合が設立されました。当時では画期的なこの女子寮も老朽化が進み、女性のニーズに応えられなくなったことから、平成7年にこの女子寮を新しく建て替えることとなりました。求人難の時代には、従業員を秋田市内に限定して募集することは難しく、秋田市近郊あるいは郡部からの才能ある女性を採用するためには、何といても宿舎の問題がネックになっており、女性に親しまれる内容を施した施設を建築し、心機一転新たにスタートしました。

企業にとっても、女性の労働力を確保する上では、このような女子寮完備という要件はたいへん魅力あるもので、新築された女子寮は、秋田市泉大橋(現泉中央一丁目)にあり、新国道から徒歩で約3分程入った閑静な住宅地に位置しています。

交通の利便性も良く、立地条件としては最適で、狭い敷地にぎゅうぎゅうに押し込める共同住宅施設とは違い、500坪もある土地に、建物は3棟に分け、コミュニケーションの広場を設けたり等、ゆとりのスペースをとりながら建築し、「プリンセスコート」とネーミングしました。部屋はそれぞれに独立したマンションタイプの一人部屋で、女性の好みに合わせた洒落た外観とあわせて、各部屋には冷暖房完備のほかカウンター付きのキッチン、また、BS受信装置等の設備を施しています。女子寮ということで最も不安なセキュリティ対策も万全を期しています。



[室内イメージ]



[従業員宿舎と駐車場]

しかし、ライフスタイルの変化やプライベート志向、路線バスでは不便な勤務地に自動車通勤する利用者に対して駐車場不足などが原因で、入居後、1、2年で転居する入居者も多く、年々空き室が増加してきました。そこで、平成18年からは男性従業員についても入居を可能とし、名称も「秋田市中心小企業従業員共同宿舎協同組合」と変更して、現在に至っています。

設立当初は20数名ほど加入していた組合員も、時代の変遷によって一時は7名まで減少しましたが、現在は14名で組合運営を維持しています。

佐野元彦理事長(株式会社サノ・ファーマーシー代表取締役社長)は、今後の活動方針について、組合員の福利厚生施設として今後も維持管理に努めたいとしています。現在、若干の空き室があり、その解消のためにも不足する駐車台数の確保が必要と考えており、引き続き、近隣地域での確保に取り組んでいきたいとしています。



[佐野理事長]